

CEFR-J開発経緯及び現状と今後への示唆

1. CEFR-Jの概要と開発の経緯
2. Pre-A1の開発の背景と方法、および言語的タスクの特徴(どのように弁別できるのか?)
3. CEFR-JにおけるCEFR-CV取り込みの計画の有無について
4. CEFR-Jの開発から得られた、CEFRの個別の状況への文脈化について
(どのような点に気を付けて文脈化を進めたらよいか?)

1. CEFR-Jの概要と開発の経緯

[2004-2007] 小池科研A

「第二言語習得研究を基盤とする小,中,高,大の連携をはかる英語教育の先導的基礎研究」
…CEFR-Jプロトタイプ作成

[2008-2011] 投野科研A

「小、中、高、大の一貫する英語コミュニケーション能力の到達基準の策定とその検証」
…CEFR-J開発

[2012-2015] 投野科研A

「学習者コーパスによる英語CEFRレベル基準特性の特定と活用に関する総合的研究」
… CEFR-J準拠語彙リスト作成／CEFR-J RLD Project (Grammar Profile/Text Profile/Error Profile)

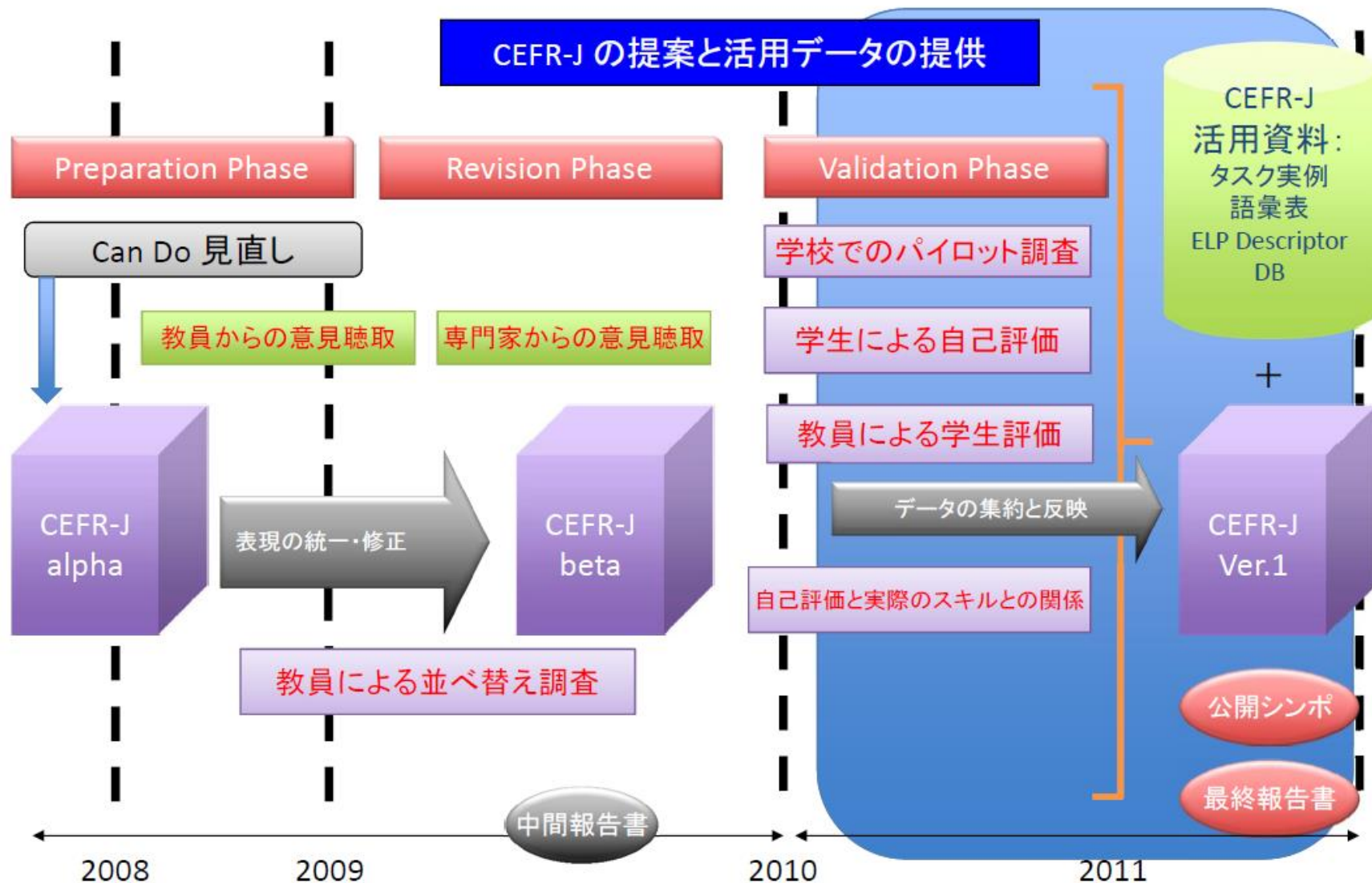
[2016-2019] 根岸科研A

「英語到達度指標CEFR-J準拠のCAN-DO指導タスクおよびテスト開発と公開」
…CEFR-J CAN-DOをベースにしたテスト・タスク開発／各基準特性プロファイルのツール開発

[2020-2024] 根岸科研A

「CEFR-Jに基づくCAN-DOタスク中心の教授と評価に関する総合的研究」
… CEFR-Jの各種資料を活用したCAN-DOベースの指導と評価の実証研究

CEFR-Jプロジェクトの全体像(イメージ)



CEFR-J関連科研

【投野科研】コーパス研究

[2018-2021] 科研A

「CEFR準拠の外国語教育資源整備用ワークベンチの開発と評価」

[2022-2026] 科研A

「CEFR-J 準拠多言語教育統合環境の構築と実践」

【根岸科研】言語テスト研究

[2008-2011] 科研B

「大規模英語学習者コーパスのエラー情報を活用した言語テスト構築の基礎的研究」

[2012-2015] 科研B

「コーパス準拠の英語カレベル基準特性を活用した新しい言語テストの構築」

【吉富科研】スピーキング研究

[2018-2020] 科研B

「CEFR-Jに準拠した入学から卒業までの英語スピーキング能力の指導・評価システム」

[2021-2024] 科研B

「CEFR-Jに準拠した英語スピーキング能力の指導・評価システムの拡充」

2. Pre-A1の開発の背景と方法、および言語的タスクの特徴

入門期のレベルの開発背景

- ・日本人の大半がAレベルであることから下位レベルの細分化(枝分かれ)の必要性
- ・A1レベルの細分化における基礎的な使用レベル到達前の学習のプロセスを考慮
- ・小学校高学年(5年生)から開始(当時)となる日本における英語教育環境を考慮

入門期のレベルの開発経緯

- ・「A1.0」(A1下位レベル)または「Pre-A1」(A1以下のレベル)の設置案の検討
⇒入門期の英語教育ととらえるか、外国語活動ととらえるか
- ・トップダウン式アプローチとして下記の資料等を参照⇒ボトムアップ式による検証
フィンランド版Language Proficiency Scale (LPS)
英検Can-Do調査/GTEC for STUDENTS Junior
ECF理念に基づく幼児・小学生の英語力到達目標研究(ベネッセ教育開発センター)

Pre-A1レベルの言語的タスクの特徴

- ・初学者のため「簡単な語彙や表現を用いて言語に慣れ親しむ活動」や「言葉だけでなく、ジェスチャーやTPRを使用したコミュニケーション活動」が含まれている

3. CEFR-JにおけるCEFR-CV取り込みの計画の有無

現段階では計画なし

4. CEFR-Jの開発から得られたCEFRの個別の状況への文脈化

- ・参照枠として開発するか、ELPのようなCAN-DOリストとして開発するか
- ・コーパス研究の知見やデータに基づいた活用リソースをどう開発するか
- ・タスク達成による評価か、ルーブリックに基づく言語評価か
- ・学校教育現場での教科書に基づく指導と評価とどう紐づけるか
⇒「学習要素リスト」設計と各プロフィール資料をどう関連づけるか